

毎週日曜発行
2022 3/20

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



災害から命を守るには何が必要？

ニュース



井みらいさん(11)、館小5年の清野智優君(11)の3人がこども記者として、仙台市の取り組み取材したよ。

11年前の東日本大震災で、仙台市では904人が亡くなるなど、大きな被害が出たんだ。災害に強いまちづくりには何が必要だろう。仙台市大野田小5年の後藤有咲さん(10)、八幡小5年の桜職員16人、住民233



震災遺構となった荒浜小を見学する3人のこども記者。2階のベランダの高さまで津波が到達した

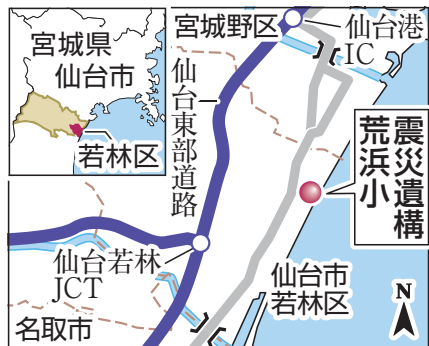
適切な判断 遺構で学ぶ

人の計320人は4階以上に避難して助かりましたが、周りが水につかって孤立しました。



周辺は震災後に「災害危険区域」となり、人が住めなくなりまりました。学校も児童が減り、2016年3月で閉校。ただ、校舎は津波の恐ろしさと命の大切さを後世に伝えるため、震災遺構として保存されています。

こども記者3人は荒浜小を訪れ、津波到達点に分かる表示や津波の力で壊れた校舎の壁を目の当たりにしました。桜井さんは「2階まで水が押し寄せてきたなんて信じられない」と感じました。



荒浜小には津波が襲った。



津波で孤立した荒浜小。2011年3月11日(仙台市提供)

た3時55分で止まった時計、がれきや車などが流れ込んだ校舎内の写真なども展示されています。320人が全員救出されるまでの27時間を振り返る映像もあり、震災について学べます。



当時の校長だった川村孝男さん(66)は「災害は地震や津波だけではなく、適切な判断で行動できるようになることが大切です」と強調。「遺構や被災地を訪れ、見て感じることで、自分の命と周りの大切な人を守る人になってほしい」と話しています。

(8面に続く)

今週の注目ニュース

◇25日(金) プロ野球開幕
セ・パ両リーグの公式戦が始まるよ。東北楽天はホームの楽天生命パーク宮城(仙台市宮城野区)でロッテと対戦するんだ。今季は青森、岩手、秋田3県でも東北楽天の主催試合があるよ。みんなで応援しよう。

きょうの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 震災11年 仙台市長にインタビュー

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ